

千代田区 中小企業の景況【概要版】

～令和5年4月～6月期～

【発行】千代田区地域振興部商工観光課
 【調査機関】一般社団法人 東京都信用金庫協会
 【分析委託業者】株式会社 東京商工リサーチ

[回答事業所数の業種別内訳]

	有効回答事業所数
製造業	33
卸売業	51
小売業	28
サービス業	41
建設業	29
不動産業	36
業種計	218

判断表 業種別定点指標値(マークの基準は業況判断D.I季節調整済修正値で判断)

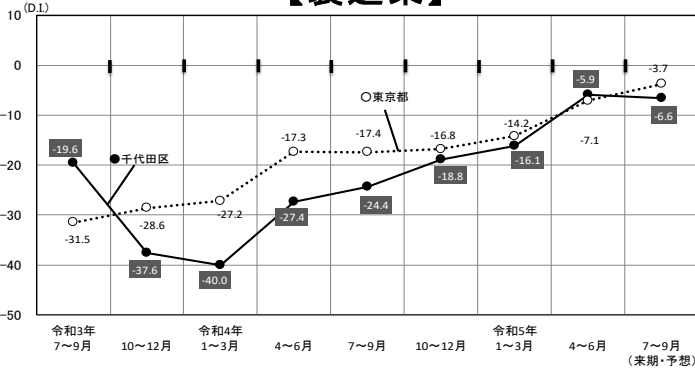
	A	B	C	D	E	F	G
製造業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
卸売業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
小売業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下
サービス業	15以上	14～5	4～-5	-6～-15	-16～-25	-26～-35	-36以下
建設業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
不動産業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下



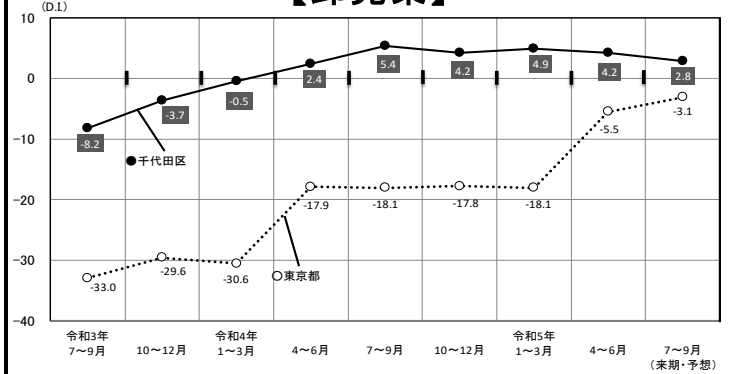
製造業	今期		D -5.9	業況は厳しさが大きく和らぎ、改善した。売上額は増加に転じ、収益は減少が大きく弱まり、ともに改善した。価格面では、販売価格、原材料価格はともに上昇がやや弱まった。在庫は前期並となった。 来期の見通しについて、業況は今期同様で推移すると予想されている。売上額は今期同様の増加が続き、収益は減少がやや弱まる見通しである。
	来期		D -6.6	
卸売業	今期		C 4.2	業況は前期並の好調感が続いた。売上額は前期並の増加となった。収益は減少がやや強まり、悪化した。価格面では、販売価格は前期並となり、仕入価格は上昇がやや強まった。在庫は過剰感がやや改善した。 来期の見通しについて、業況は今期同様で推移すると予想されている。売上額は今期同様の増加が続き、収益は減少が大きく弱まる見通しである。
	来期		C 2.8	
小売業	今期		D -14.0	業況は厳しさが極端に和らぎ、改善した。売上額は減少幅が大きく縮小し、収益は減少が極端に弱まり、ともに改善した。価格面では、販売価格は上昇がやや弱まり、仕入価格は上昇が大きく強まった。在庫は前期並となった。 来期の見通しについて、業況は低調感がやや強まると予想されている。売上額は減少幅が大きく拡大し、収益は今期同様で推移する見通しである。
	来期		D -16.5	
サービス業	今期		C -4.7	業況は厳しさがやや和らぎ、改善した。売上額は増加幅が大きく縮小した。収益は増加傾向をやや強め、改善した。価格面では、料金価格は上昇が大きく弱まり、材料価格は上昇がやや強まった。 来期の見通しについて、業況は好転すると予想されている。売上額は増加幅が極端に拡大し、収益は増加傾向を極端に強める見通しである。
	来期		A 18.5	
建設業	今期		A 39.6	業況は好調感が極端に強まり、改善した。売上額は増加幅が極端に拡大し、収益は増加傾向を大きく強め、ともに改善した。価格面では、請負価格は上昇が大きく強まり、材料価格は上昇が極端に強まった。在庫は不足感がやや改善した。 来期の見通しについて、業況は好調感がやや後退すると予想されている。売上額、収益はともに増加幅が極端に縮小する見通しである。
	来期		A 35.7	
不動産業	今期		A 15.4	業況は好転し、改善した。売上額、収益はともに増加に転じ、改善した。価格面では、販売価格は上昇が極端に強まり、仕入価格は上昇が大きく強まった。在庫は不足感が大きく改善した。 来期の見通しについて、業況は好調感が大きく強まると予想されている。売上額は増加幅がやや拡大し、収益は今期同様で推移する見通しである。
	来期		A 21.8	

千代田区と全都の業況の動き（実績）と来期の予測

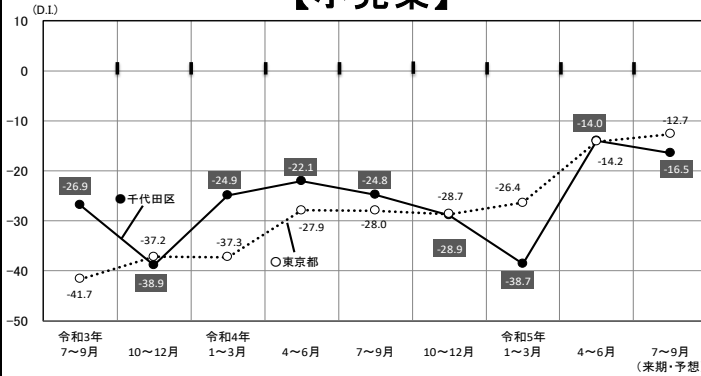
【製造業】



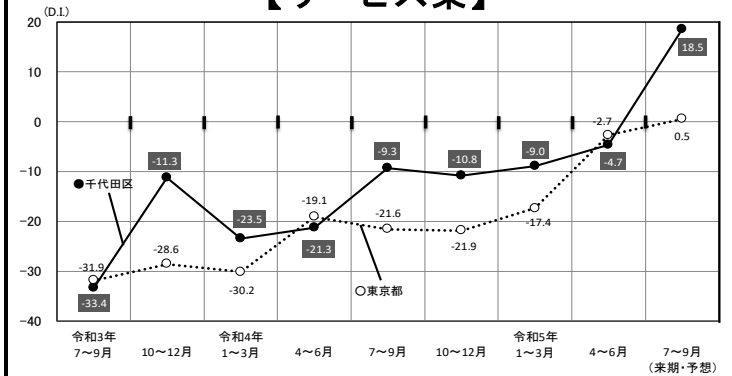
【卸売業】



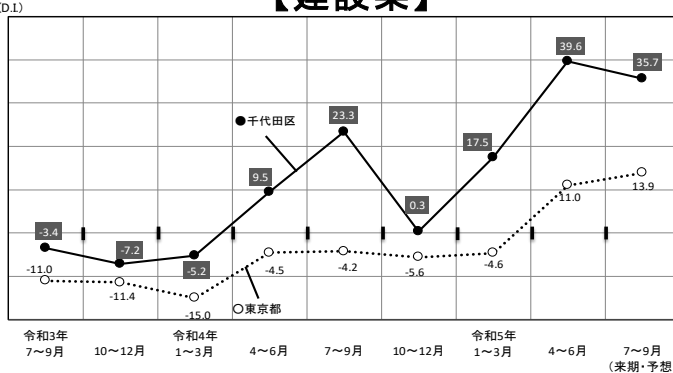
【小売業】



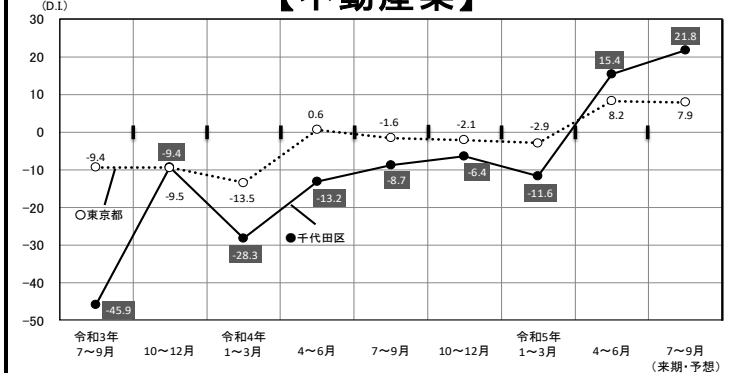
【サービス業】



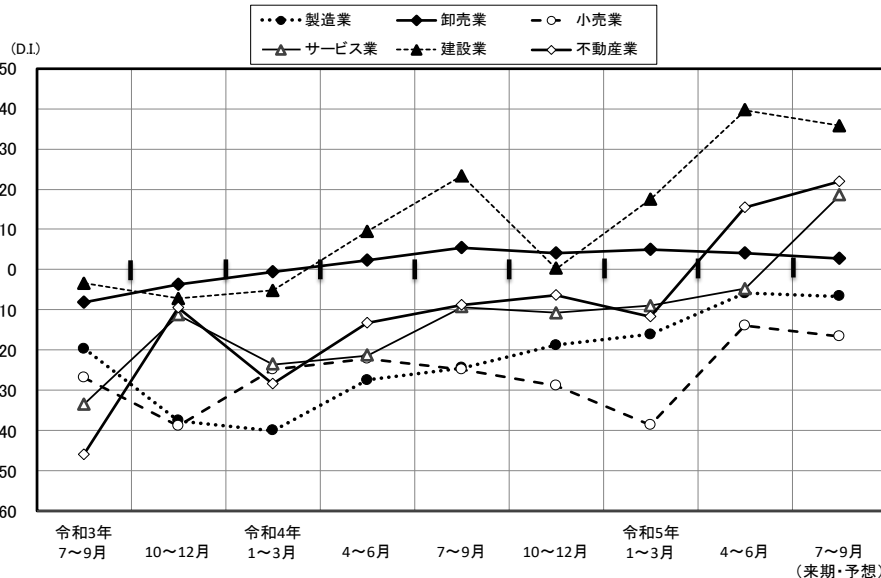
【建設業】



【不動産業】



【千代田区全業種】



千代田区 業種別 経営上の問題点

製造業		卸売業		小売業		サービス業		建設業		不動産業	
売上の停滞・減少	42.4 %	売上の停滞・減少	51.0 %	売上の停滞・減少	39.3 %	売上の停滞・減少	51.2 %	人手不足	51.7 %	商品物件の高騰	41.7 %
原材料高	27.3 %	仕入先からの値上げ要請	25.5 %	大型店との競争の激化	21.4 %	人手不足	39.0 %	材料価格の上昇	37.9 %	商品物件の不足	27.8 %
仕入先からの値上げ要請	15.2 %	同業者間の競争の激化	23.5 %	仕入先からの値上げ要請	17.9 %	人件費の増加	19.5 %	売上の停滞・減少	27.6 %	同業者間の競争の激化	19.4 %
利幅の縮小	12.1 %	為替レートの変動	21.6 %	同業者間の競争の激化		同業者間の競争の激化		人件費の増加	13.8 %	売上の停滞・減少	
同業者間の競争の激化	9.1 %	利幅の縮小		人件費以外の経費の増加	10.7 %	材料価格の上昇	14.6 %	人件費以外の経費の増加	10.3 %	利幅の縮小	13.9 %
				販売商品の不足		利幅の縮小		同業者間の競争の激化			

千代田区 業種別 重点経営施策

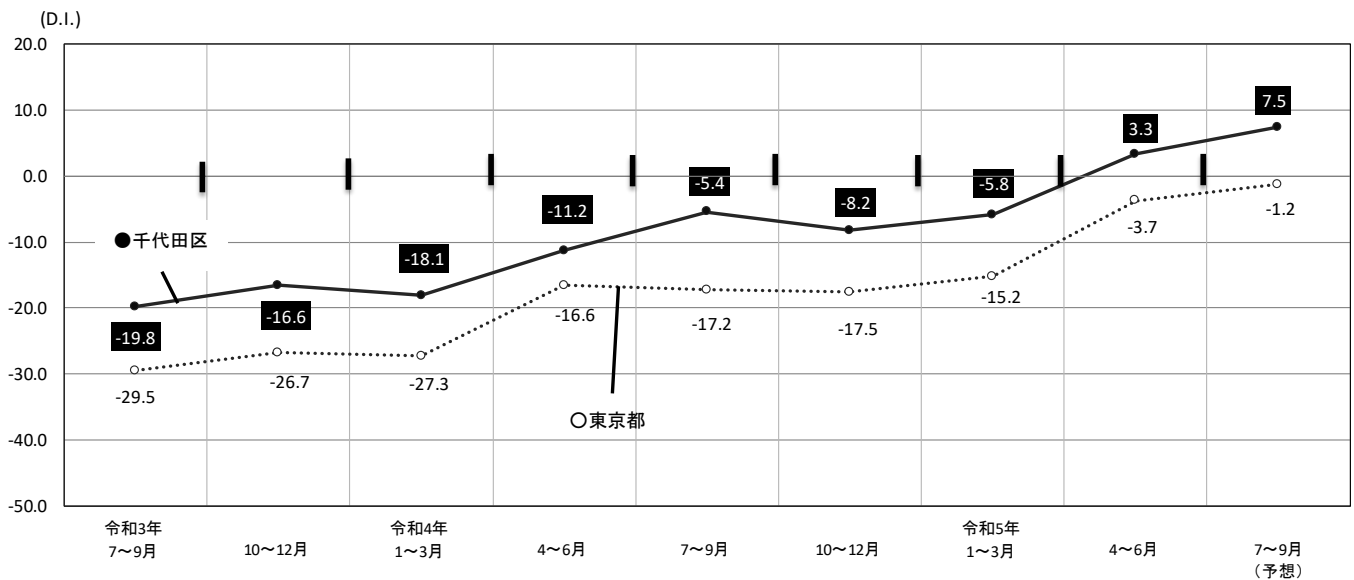
製造業		卸売業		小売業		サービス業		建設業		不動産業	
販路を広げる	54.5 %	販路を広げる	68.6 %	経費を節減する	32.1 %	販路を広げる	61.0 %	経費を節減する	48.3 %	販路を広げる	55.6 %
経費を節減する	36.4 %	経費を節減する	54.9 %	品揃えを改善する	25.0 %	経費を節減する	48.8 %	販路を広げる	44.8 %	情報力を強化する	30.6 %
情報力を強化する	18.2 %	情報力を強化する	19.6 %	売れ筋商品を取り扱う	17.9 %	人材を確保する	31.7 %	人材を確保する	41.4 %	経費を節減する	27.8 %
人材を確保する	9.1 %	提携先を見つける	17.6 %	宣伝・広告を強化する		技術力を強化する	9.8 %	技術力を高める	17.2 %	人材を確保する	13.9 %
新製品・技術を開発する	6.1 %	人材を確保する	7.8 %	商店街事業を活性化させる	10.7 %	提携先を見つける		情報力を強化する	13.8 %	宣伝・広告を強化する	
		品揃えを充実する									

千代田区と東京都の業況の動き

千代田区の今期の業況判断 D.I.（季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合）は 3.3 と前期（令和 5 年 1～3 月）の -5.8 に比べ 9.1 ポイント増加し、好転した。

東京都の業況と比較すると、今期は千代田区が東京都を 7.0 ポイント上回った。業種別で比較すると、建設業（28.6 ポイント）で、千代田区が東京都を 20 ポイント以上上回り、卸売業（9.7 ポイント）と不動産業（7.2 ポイント）の 2 業種で、千代田区が東京都を 7 ポイント以上上回った。一方、サービス業（-2.0 ポイント）で、千代田区が東京都を下回った。

千代田区の来期（令和 5 年 7～9 月）の業況見通しは 7.5 と、今期よりも 4.2 ポイント増加し、好調感がやや強まると予想されている。東京都の来期の業況見通しは -1.2 であり、比較すると千代田区が 8.7 ポイント上回り、今期並の差となる見込みである。

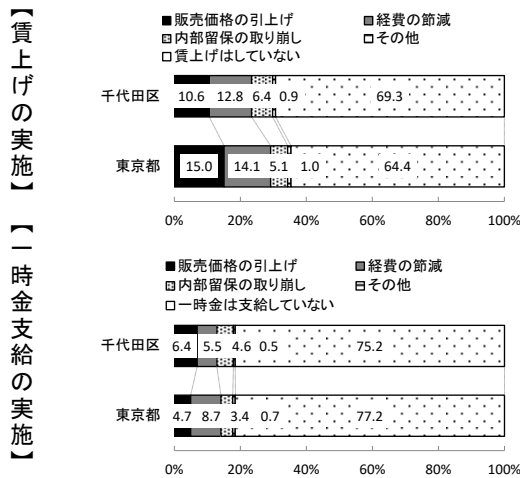


特別調査「アフターコロナと中小企業」

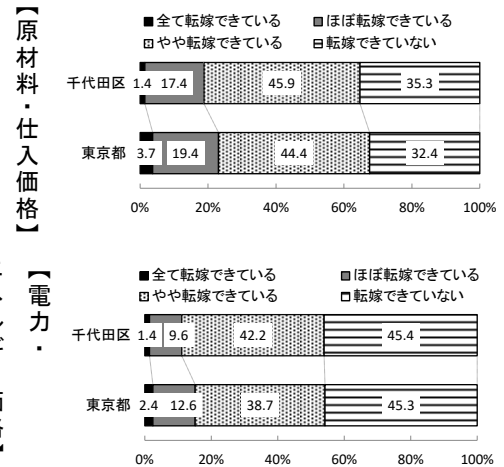
注1. 本調査は、主に千代田区の状況について記載しています。グラフでは千代田区と東京都全体の比較をしています。
注2. 回答により100%にならないこともあります。

本調査結果の特徴	①「賃上げ」及び「一時金支給」の実施状況	賃上げの実施：「実施した」30.7%、「していない」69.3% 一時金支給の実施：「実施した」17.0%、「していない」75.2%
	②価格上昇分相当の転嫁状況	原材料・仕入価格「やや転嫁できている」45.9% 電力・エネルギー価格「転嫁できている」45.4%
	③コロナ感染前と比較した現在の売上状況	『増加』23.8% 「ほぼ変わらない」50.5% 『減少』25.7%
	④3～5年後に向けた事業展開	「現在の事業を、現状のまま継続したい」50.7% 「新しい販路・市場を開拓したい」24.2%
	⑤人材確保のための職場環境改善に向けた取組みの実施状況	「賃上げ等、待遇面の改善」30.7% 「ワークライフバランスの充実」26.6%

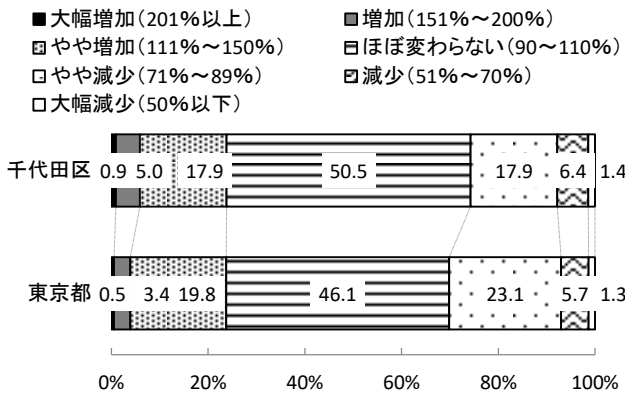
図表1 「賃上げ」及び「一時金支給」の実施状況



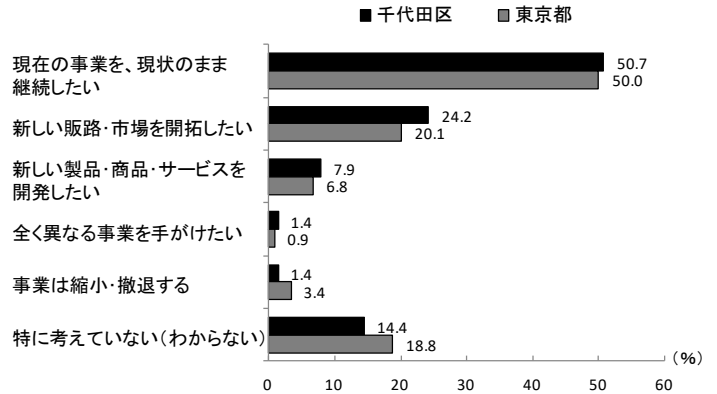
図表2 価格上昇分相当の転嫁状況



図表3 コロナ感染前と比較した現在の売上状況



図表4 3～5年後に向けた事業展開について



図表5 職場環境改善に向けた取組みの実施状況

